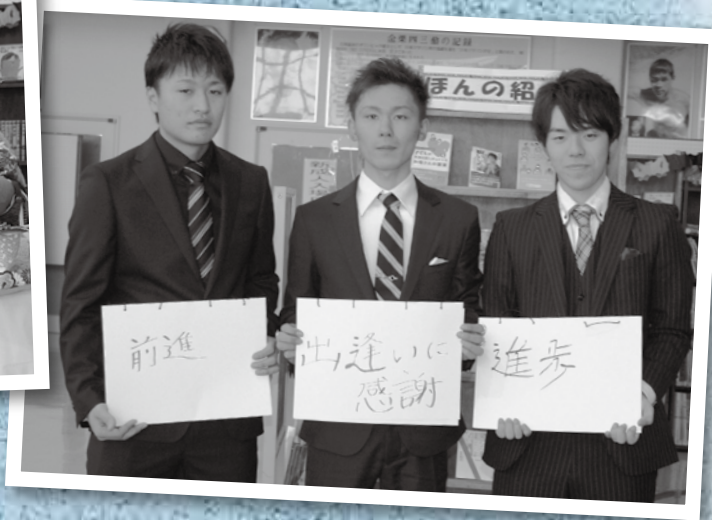


最後に成人になってからの 決意を書いてもらいました



My new year's resolution is ...

今日、このように晴れて成人を迎えることができましたのも、今まで私たちを支えてくださった家族や先生方、地域の方々のおかげです。私は、小学生のころに学校で駅伝のチームを組み、大会で上位入賞できたことが嬉しくて、中学校では、陸上部に入部しました。早起きして学校のグラウンドで朝練をし、授業が終わると急いで番城グラウンドへ行って練習するという生活を送りました。ハードだったけれど、駅伝に向けて仲間と切磋琢磨した日々は、私にとって、かけがえのない宝物です。

中学時代、私に陸上の楽しさを教えてくださった恩師の言葉に、このような言葉があります。「終わって後悔するより、今苦しんだほうがいい。そうすれば喜びは一〇〇倍だ。」「自分のことだけを考えるとはいけません。自分がきつくなるだけだ。自分の後に走る人のことを考えて走りなさい。」「長距離を走るためには、きつくなった時に自分の弱い気持ちに勝たなくてはなりません。これらの言葉が、何か悩みを抱えた時に、今でも私を支えてくれています。どちらも駅伝の大会の前に言われた言葉ですが、生活においても同じようなことが言えると思います。自分にとって不利な状況に置かれても、逃げずに、自分は今何をするべきかを考え、置かれた場所で花を咲かせられるような人になりたいです。また、どんな小さなことにも興味を持って挑戦し、視野を広げていきたいです。

現在、私は大学でスポーツ科学について学びながら現役で陸上を続けさせていただいています。入学当初は、大学のレベルについていけず、挫折の連続でしたが、今は恩師の言葉を胸に頑張っています。今月には、ハーフマラソンにも挑戦させていただきました。このように今でも陸上を続けられているのは、ペーロン大会や金栗マラソンなどのスポーツイベントの開催や、番城グラウンドでや町民体育館をはじめとする体育施設の充実などスポーツ環境が整っているなかで幼いころから、スポーツに携わっていたことが大きいと思います。また、地域の皆さまの温かいご声援も励みとなっています。和水平町を離れている今、皆さまの温かさをひしひしと感じます。大学卒業後は和水平町に戻り、もっと多くの人にスポーツの楽しさを広めていきたいと思っています。そして、中学校のころからの夢である教員になって、陸上の指導をするという夢を叶えるべく、今を大切に生きたいと思っています。



坂口 天音 (馬場)
いけがみ ひろみ
池上 大海 (中十町)

成人の誓い

私は、今、長洲町の会社に勤めています。会社までは、同じ玉名郡といえ片道50分ほど通勤に時間がかかります。この和水平町は、決して交通の便がいいと言える町ではありません。電車が通っていないくてもバスが発達していないくても不自由だとは思いますが、友人に会うことができないのは少し思うところがあります。

そんな中、地元の友人が、別の土地の話し方や方言を話しているとき少し寂しく思うことがあります。同じ熊本県とはいえ、町が違うだけで話の方は変わってきます。それぞれの地元で根付いた独特の方言や話し方が、その町で育った人の象徴のようなものだと思います。なにより故郷のぬくもりを感じることができません。この土地で生まれ育ち、20年間生きてきたからこそ私に芽生えた夢があります。それは、立派な父親になることです。

私は、高校2年生の秋、父を病気で亡くしました。その時は全く現実が受け止められず、心の中が空っぽになったようでした。父は、10年弱の間、病気で闘い入院を繰り返しながら、家族や会社のために働いてくれました。就職し働く大変さを知った今、父の偉大さをひしひしと感じるばかりです。その父の葬儀の際、私の友人がたくさん駆けつけてくれました。友人らの姿を目にしたとき、自分の中に留めていた感情があふれました。その時のことは、一生忘れることができません。私自身、父を亡くした経験でたくさんの方を思い知らされました。働く大変さ、友達のありがたさ、それらは必ず自分の道しるべになってくれるはずなんです。



いけがみ ひろみ
池上 大海 (中十町)

二十歳の誓い